

平成28-29年度

下関市立歴史博物館年報

平成31年3月31日

ごあいさつ

下関市立歴史博物館は平成28年11月18日、長門尊攘堂を前身とする旧下関市立長府博物館の活動を継承するとともに、市民の皆様の地域学習や本市の交流人口の拡大に貢献することを目指して開館いたしました。

このたび、開館から平成29年度までの博物館活動の概要と成果を報告するため、本書を刊行することとなりました。

博物館活動の基本となります展示につきましては、メインテーマを「海峡に育まれた下関の歴史と文化－海峡の歴史に未来が見える」とし、常設展示のほか数多くの企画展示や特別展示を開催するとともに、文化財資料の収集保管、調査研究、教育普及活動の充実に努めてまいりました。

少子高齢化、人口減などによる社会構造の変化、価値観の多様化などにより、昨今の博物館を取り巻く環境は年々厳しさを増しております。しかしながら、博物館が市民一人ひとりの多様な課題に応え、まちづくりを考える学習拠点や情報拠点としての役割を担っていることに変わりないばかりか、その重要性はますます高まっているところです。

本市の豊かな歴史に学び、地域に対する愛着を育み、明日の下関を考えることのできる地域に根差した博物館を目指し、職員一同がこれまで以上に努力してまいりますので、引き続きご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月31日

下関市立歴史博物館
館長 町田 一仁



下関市立歴史博物館外観

目 次

ごあいさつ	01	III. 平成29年度事業概要	19
目次	02	【管理運営】	
I. 施設概要	03	1. 利用状況	19
1. 博物館の特色	03	(1) 観覧者数	19
2. 建物・施設の概要	03	(2) 企画展示及び特別展示実施状況	19
3. ガイダンス交流室	04	(3) 図録発行状況	19
4. 公式アプリ	04	(4) 年間行事	20
5. 沿革	05	【事業報告】	
6. 組織・職員	06	1. 展示活動	20
7. 博物館協議会	07	(1) 常設展示	20
II. 平成28年度事業概要	08	①基本展示	20
【管理運営】		②テーマ展示	20
1. 利用状況	08	(2) 企画展示	21
(1) 観覧者数	08	(3) 特別展示	33
(2) 企画展示及び特別展示実施状況	08	2. 調査研究・普及活動	40
(3) 図録発行状況	08	3. 収集・保存	40
(4) 年間行事	08	(1) 資料収集(寄贈・寄託・購入)	40
【事業報告】		(2) 収集審査会	41
1. 展示活動	09	(3) くん蒸業務	41
(1) 常設展示	09	(4) 資料の利用	41
①基本展示	09	①特別観覧	41
②テーマ展示	09	②資料貸付	41
(2) 企画展示	10	4. その他	42
(3) 特別展示	14	IV. 日清講和記念館	43
2. 調査研究・普及活動	16	V. 条例・施行規則	45
3. 収集・保存	17	利用案内	
(1) 資料収集(寄贈・寄託・購入)	17		
(2) 収集審査会	17		
(3) くん蒸業務	18		
(4) 資料の利用	18		
①特別観覧	18		
②資料貸付	18		
4. その他	18		

I . 施設概要

1. 博物館の特色

歴史豊かな下関の地域学習および交流人口の拡大のため、次のことを博物館活動の基本理念としている。

- 1 下関の歴史遺産をネットワーク化する博物館
- 2 市民とともに創り育てる博物館
- 3 多彩な交流を促進する博物館
- 4 歴史と文化を楽しむ博物館
- 5 市域の文化財を保存公開する博物館

2. 建物・施設の概要

〈新館〉

敷地面積 5,483.55㎡

構造 平屋建て

鉄筋コンクリート造

建築面積 1,864.92㎡

延床面積 1,499.88㎡

〈旧長府博物館〉

敷地面積 4,671.41㎡

構造 本館、別館、収蔵庫

：平屋建て、鉄筋コンクリート造

勝流分庫

：平屋建て、木造

延床面積 本館 315.23㎡、別館 165.30㎡、

収蔵庫 70.00㎡、勝流分庫 54.88㎡

名称	面積(単位:㎡)
A 展示部門	483.34
常設展示室	252.00
企画展示室	171.78
展示前室	27.30
展示準備室	32.26
B 収蔵部門	381.53
収蔵庫	192.85
特別収蔵庫	53.43
収蔵庫前室	37.51
荷解室	45.87
搬入室	51.87
C 機械部門	160.87
機械室	115.65
消火ボンベ室	13.18
自家発電機室	28.13
消火ポンプ室	3.91

名称	面積(単位:㎡)
D 管理部門	143.35
受付	9.87
館長室	7.85
事務室	42.91
会議室	20.32
学芸員室	45.45
警備室	9.09
更衣室	7.86
E 共用部門	330.79
ガイダンス交流室	68.09
その他	262.70

3. ガイダンス交流室

下関の歴史と文化の概要、並びに市域の文化財、文化施設、観光に関する情報を提供する無料の展示コーナーとして設置。

海峡の文化財を紹介したパノラマ映像や長府のまち歩き映像、情報検索サービス、地域史関係図書などを利用することができ、地域学習や観光の一助となるようにしている。



ガイダンス交流室

4. 公式アプリ

平成29年度から、下関市立歴史博物館公式アプリ“ワクワク れきはく”の運用を開始した。本アプリでは、博物館の最新情報を確認することができるほか、展示室に設置されたQRコードを読み込むことによって、展示物の解説をスマートフォンやタブレット端末で閲覧することも可能である。また、本アプリを利用したスタンプラリーを実施し、記念品を贈呈している。

また、近年増加するインバウンド（訪日外国人旅行者）へ対応するため、日本語のほか4か国語（英語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語）での表示も可能となっている。



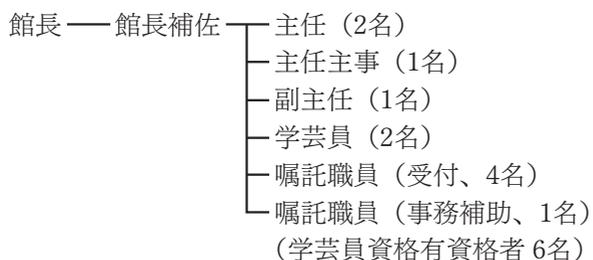
公式アプリトップページ

5. 沿革

昭和 8年10月	桂弥一が長門尊攘堂を建設し、財団法人尊攘堂が運営
昭和21年 6月	財団法人先賢記念長府博物館に改称
昭和25年 3月	財団法人長府博物館に改称
昭和55年 4月	施設と資料を下関市に移管し、下関市立長府博物館が発足
平成 5年度	下関市立長府博物館の老朽化、狭隘化などを起因として、庁内に若手職員による「博物館を考える会」を設置し、下関にふさわしい博物館像を検討
平成 6年 9月	下関市博物館（仮称）建設準備委員会を発足
平成 8年12月	建設準備委員会が基本構想を市長に答申
平成15年度	新博物館建設事業 PFI 手法導入可能性調査を実施
平成17年 9月	建設予定地を長府黒門東町とした PFI 手法による新博物館建設を断念
平成21年 3月	新博物館建設予定地を長府川端二丁目とし、下関市新博物館（仮称）建設基本計画を策定（長府博物館は新博物館に包摂する計画）
平成22年 3月	建設用地を取得
12月	建設設計及び展示設計に着手
平成23年12月	展示設計終了
平成24年 3月	建設設計完了
平成25年 2月	建築審査会を経て建築許可
3月	平成25年度当初予算において、博物館建設費1,333,000千円（継続費、3ケ年）を計上
平成26年 3月	度重なる入札不調に伴い、博物館建設費を 1,550,000 千円に増額
6月	建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事に着手
10月	展示製作に着手
平成27年12月	外構工事の入札不調に伴い、継続費を4ケ年に延伸
12月	建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事が完了し、建物竣工
平成28年 3月	外構工事、植栽工事、外構電気設備工事に着手
3月	「下関市立博物館の設置等に関する条例」を「下関市立歴史博物館の設置等に関する条例」として全部改正し、4月1日から施行
4月	下関市立長府博物館を下関市立歴史博物館に改組
4月	展示製作竣工
8月	各外構工事竣工
10月	旧長府博物館から博物館資料等を搬入し開館準備
11月	18日 開館

6. 組織・職員

【平成28年度】



館長 (嘱託)	町田 一仁
館長補佐	古城 春樹
主任	白石 行範
主任	石川 佳子
主任主事 (学芸員)	田中 洋一
副主任 (学芸員)	岡松 仁
学芸員	稲益あゆみ
学芸員	松田 和也
嘱託職員 (受付)	伊秩 秀紀
	山崎 郁子
	山本佐智子
	登根 郁江
嘱託職員 (事務補助)	齊藤 操

【平成29年度】



館長 (非常勤特別職員)	町田 一仁
館長補佐	古城 春樹
主任	白石 行範 (~6月30日)
主任	荒田 知美 (7月1日~)
主任 (学芸員)	田中 洋一
主任	篠原 佳子
副主任 (学芸員)	岡松 仁
学芸員	稲益あゆみ
学芸員	松田 和也
非常勤一般職員 (受付)	伊秩 秀紀
	山崎 郁子
	山本佐智子
	登根 郁江
	松田 直美
非常勤一般職員 (事務補助)	久保 伸子

7. 博物館協議会

下関市立歴史博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。博物館法および下関市立歴史博物館の設置等に関する条例に基づき設置している。

【平成28年度】

博物館協議会開催

日 時 平成29年3月13日（月）
13時30分～出席者 藤井俊亮、齋藤教津、
富永洋一、岡 昌子、
松村通世、木部和昭、
磯永和貴、利岡俊昭、
関谷慶子波佐間 清（教育長）
町田一仁、古城春樹、
白石行範、田中洋一、
岡松 仁、稲益あゆみ、
松田和也

区 分	氏 名	公 職 等	備 考
学校教育 関係者	藤井俊亮	下関市教育研究会小学校社会科部長	
	齋藤教津	下関市教育研究会中学校社会科部長	
社会教育 関係者	富永洋一	下関市社会教育委員	会 長
	岡 昌子	菊舎顕彰会会長	
家庭教育に 資する者	内野和子	長府婦人会会長	
	松村通世	下関市更生保護女性会顧問	
学識経験者	木部和昭	山口大学経済学部教授	
	磯永和貴	東亜大学人間社会学科准教授	副会長
	利岡俊昭	元梅光学院大学地域文化研究所教授	
	関谷慶子	学校法人下関学院学院長	

【平成29年度】

博物館協議会開催

日 時 平成30年3月5日（月）
13時30分～出席者 高山 章、岡崎茂邦、
富永洋一、上野幸子、
松村通世、磯永和貴、
利岡俊昭、関谷慶子町田一仁、古城春樹、
荒田知美、田中洋一、
岡松 仁、稲益あゆみ、
松田和也

区 分	氏 名	公 職 等	備 考
学校教育 関係者	高山 章	下関市教育研究会小学校社会科部長	新 任
	岡崎茂邦	下関市教育研究会中学校社会科部長	新 任
社会教育 関係者	富永洋一	下関市社会教育委員	会 長
	岡 昌子	菊舎顕彰会会長	
家庭教育に 資する者	上野幸子	長府婦人会会長	新 任
	松村通世	下関市更生保護女性会顧問	
学識経験者	木部和昭	山口大学経済学部教授	
	磯永和貴	東亜大学人間社会学科准教授	副会長
	利岡俊昭	元梅光学院大学地域文化研究所教授	
	関谷慶子	学校法人下関学院学院長	

Ⅱ . 平成28年度事業概要

【管理運営】

1. 利用状況

(1) 観覧者数

●月別観覧者数

月	観覧者数 (人)
11月(※)	12,565
12月	7,223
1月	4,423
2月	4,683
3月	5,257
計	34,151

年間開館日数 108日

開館時間延長 11月19日(土)、11月20日(日)
「彩の城下町長府・秋2016」に伴い
午後9時まで開館

※ 11月18日開館

(2) 企画展示及び特別展示実施状況

展 示 名	期 間	観覧者数
下関市立歴史博物館開館記念 企画展 時代を拓く海峡一擲夷戦・下関戦争・四境戦争	11月18日(金)～12月25日(日)	9,308人
企画展 下関の禅宗文化一功山寺・日頼寺の至宝	1月 5日(木)～ 2月 5日(日)	2,523人
特別展 下関のオランダ宿一本陣伊藤家と佐甲家	2月10日(金)～ 3月26日(日)	3,170人

(3) 図録発行状況

名 称	発 行 年 月	頒 価
『下関市立歴史博物館 常設展示図録』	平成28年11月	500円
『下関市立歴史博物館特別展 下関のオランダ宿一本陣伊藤家と佐甲家』	平成29年 2月	1,000円

(4) 年間行事

No	日 程	内 容
1	平成28年11月2～4日	下関市立歴史博物館館内くん蒸
2	平成28年11月16日	銅像「時代を拓く」竣工式典・祝賀会
3	平成28年11月18日	下関市立歴史博物館開館
4	平成28年11月19～20日	夜間開館
5	平成29年 3月13日	下関市立歴史博物館協議会
6	平成29年 3月17日	歴史博物館資料収集審査会
7	平成29年 3月20～24日	旧長府博物館館内くん蒸



銅像「時代を拓く」



開館式



オープニングセレモニー



テープカット

【事業報告】

1. 展示活動

(1) 常設展示

①基本展示

下関の歴史について、館藏品や模型を用いて通史的な展示を行い、平成28年度中に3度の展示替えを実施した。

②テーマ展示

・下関戦争（通期）

幕末の下関において起こった下関戦争について、当時彦島の弟子待台場に備え付けられていた荻野流一貫目青銅砲と映像ブースを中心にした展示を行った。

・大名道具の雅な世界（平成29年2月7日（火）～3月26日（日））

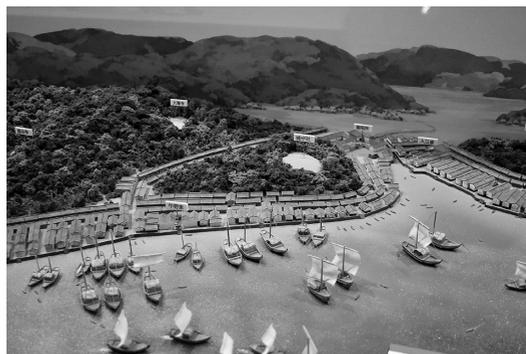
雛祭りにあわせて、長府毛利家と清末毛利家伝世の御道具類の一部を中心に、近世大名家の雅やかな世界について紹介する展示を行った。

・武家の装い（平成29年3月28日（火）～5月28日（日）、平成28年度分は4日間）

端午の節句にあわせて長府毛利家及び清末毛利家ゆかりの武具や装束などを展示し、武家の装いについて紹介した。



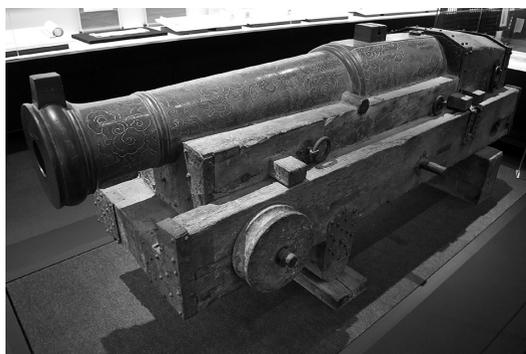
常設展示風景



北前船と赤間関模型



テーマ展示風景
(テーマ展示「下関戦争」より)



萩野流一貫目青銅砲
(テーマ展示「下関戦争」より)

(2) 企画展示

①下関市立歴史博物館開館記念企画展

時代を拓く海峡

—攘夷戦・下関戦争・四境戦争

【会 期】平成28年11月18日(金)
～平成28年12月25日(日)

【開館日数】33日 【観覧者数】9,308人

【担当学芸員】松田和也

【出品件数】58件

【展 示 概 要】幕末の下関で行われた攘夷戦・
下関戦争・四境戦争にかかわる
資料を展示。



チラシ表



チラシ裏

【展示資料目録】

No	資料名	所蔵
1	相州浦賀北垂米利加船入津絵巻	下関市立長府図書館蔵
2	長府古城山ヨリ関小戸迄海岸測量絵図控	下関市立長府図書館蔵
3	亀山八幡宮写真	下関市立歴史博物館蔵
4	友田小助詩書	下関市立長府図書館蔵
5	結城香崖写真	下関市立長府図書館蔵
6	白杵横波詩書	下関市立長府図書館蔵

7	白杵横波所用 ギヤマンコップ	下関市立歴史博物館蔵
8	中野半左衛門日記	個人蔵
9	御用部屋日記	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
10	三吉周亮写真	下関市立歴史博物館蔵
11	天杯	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
12	古谷道庵日乗 第56	下関市烏山民俗資料館蔵
13	古谷道庵日乗 第61	下関市烏山民俗資料館蔵
14	古谷道庵日乗 第73	下関市烏山民俗資料館蔵
15	長星異形図 文久元年	福仙寺蔵
16	長星異形図 文久2年	福仙寺蔵
17	三條實美写真	下関市立歴史博物館蔵
18	中山忠光和歌	下関市立歴史博物館蔵
19	長府藩重臣連署奉書	下関市立歴史博物館蔵
20	久坂玄瑞肖像画写真（パネル展示）	（原資料）山口県立山口博物館蔵
21	第三次攘夷戦図 ド・ハート筆	下関市立歴史博物館蔵
22	白石正一郎日記中摘要	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
23	八十斤加農砲模型	下関市立歴史博物館蔵
24	臼砲模型	個人蔵・山口県立山口博物館寄託
25	七卿落図	下関市立歴史博物館蔵
26	白石家浜門写真	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
27	吾往隊名簿	下関市立歴史博物館蔵
28	地雷火敷設器（パネル展示）	（原資料）通化寺蔵・岩国徴古館寄託
29	攘夷戦備図写	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
30	イラストレイテッド・ロンドンニュース	下関市立歴史博物館蔵
31	馬関戦争図 藤島常興筆	下関市立歴史博物館蔵
32	下関戦争図 ワーグマン筆	下関市立歴史博物館蔵
33	時田少輔書状 元治元年8月6日	下関市立長府図書館蔵
34	前田低台場に上陸する連合軍写真	下関市立歴史博物館蔵
35	角石陣屋の攻防戦写真	下関市立歴史博物館蔵
36	占拠された前田低台場写真	下関市立歴史博物館蔵
37	占拠された前田高台場写真	下関市立歴史博物館蔵
38	大砲を接收される壇浦台場写真	下関市立歴史博物館蔵
39	毛利敬親達書 元治元年8月	岩国徴古館蔵
40	ル・モンド・イリュストレ	下関市立歴史博物館蔵
41	報国隊旗（タペストリー展示）	（原資料）豊功神社蔵

42	福原和勝肖像画	下関市立豊浦小学校教育資料館蔵
43	熊野直介肖像画	下関市立豊浦小学校教育資料館蔵
44	盟約書	下関市立長府図書館蔵
45	長州再征軍進発図	下関市立歴史博物館蔵
46	柏村日記	山口県文書館蔵
47	慶応2年海峡測量図	個人蔵・下関市立東行記念館寄託
48	幕府達書	岩国徴古館蔵
49	土方久元書状 白石正一郎宛 慶応2年4月21日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
50	坂本龍馬書状 品川省吾宛 慶応2年6月16日	下関市立歴史博物館蔵
51	坂本龍馬写真	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	高杉晋作肖像画写真	下関市立歴史博物館蔵
53	馬関戦争図絵	山口県立山口博物館蔵
54	慶応2年小倉城落城図写	下関市立歴史博物館蔵
55	小倉城周辺諸隊等配置図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
56	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応2年8月16日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
57	毛利両公及キング之肖像	山口県文書館蔵
58	朝廷達書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

②下関の禅宗文化—功山寺・日頼寺の至宝

【会 期】平成29年1月5日（木）

～平成29年2月5日（日）

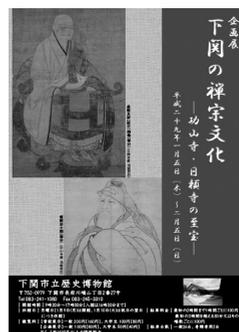
【開館日数】28日 【観覧者数】2,523人

【担当学芸員】岡松 仁

【出品件数】60件

【展示概要】下関市における禅宗文化について、
功山寺と日頼寺に伝わる資料などを
展示。

【展示資料目録】



チラシ表



チラシ裏

No	資料名	所蔵
1	達磨図 寂室堅光筆	功山寺蔵
2	鷹図 伝 徽宗筆	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
3	日頼寺関係法系図	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
4	日頼寺住持職相伝書	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
5	木造聖一国師像	功山寺蔵
6	木造虚庵禅師像	功山寺蔵
7	長門国守護施行状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

8	永富季道軍忠状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
9	後醍醐天皇綸旨	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
10	長門国宣	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
11	足利直冬書下写	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
12	長福功山略記	功山寺蔵
13	仏涅槃図	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
14	虚庵玄寂（寂空）画像	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
15	大内教弘書状	下関市立歴史博物館蔵
16	功山寺出土遺物	下関市教育委員会蔵
17	虚庵玄寂（寂空）行録	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
18	桂庵玄樹画像（パネル展示）	（原資料）鹿児島県立図書館蔵
19	大内政弘安堵状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
20	大内義興安堵状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
21	大内義隆安堵状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
22	毛利隆元安堵状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
23	毛利元就・同輝元連署安堵状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
24	毛利輝元書状案	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
25	大同和尚頂相	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
26	竺春禅師頂相	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
27	無溪和尚頂相	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
28	某頂相	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
29	恵海和尚頂相	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
30	板絵頂相	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
31	二十八部衆立像のうち神母天像・乾闥婆像	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
32	毛利元就画像	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
33	毛利元清画像	来福寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
34	毛利元就書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
35	毛利元就継室乃美氏消息	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
36	毛利元就書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
37	竺雲恵心書状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
38	毛利元清書状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
39	真溪円侃書状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
40	功山寺略記	功山寺蔵
41	毛利秀元画像	功山寺蔵
42	金岡用兼画像	功山寺蔵

43	三庭龍達画像	功山寺蔵
44	維摩居士図	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
45	毛利秀元寄進状	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
46	毛利光広安堵状	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
47	毛利光広安堵状	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
48	毛利綱元黒印状	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
49	基外嶺雄画像	功山寺蔵
50	智門寺殿扁額 毛利綱元筆	功山寺蔵
51	毛利綱元筆 金剛經	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	釈迦三尊図 (3幅対)	功山寺蔵
53	大洞覚仙画像	功山寺蔵
54	大鳳智翎墨跡	功山寺蔵
55	功山歴代略記	功山寺蔵
56	極楽寺証文付立	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
57	光厳上皇院宣	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
58	足利尊氏御判御教書	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
59	長府古図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

(3) 特別展示

下関のオランダ宿一本陣伊藤家と佐甲家

【会 期】平成29年2月10日(金)
～平成29年3月26日(日)

【開館日数】39日 【観覧者数】3,170人

【担当学芸員】岡松 仁

【出品件数】71件

【展示概要】江戸時代の下関で大年寄役を務め、
本陣・オランダ宿の役割を果たした伊藤家・佐甲家に伝わる資料を
展示。

【展示資料目録】



No	資料名	所蔵
1	富嶽松図 フェイルケ筆 ツーフ着賛	個人蔵
2	農夫図扇面 ブロンホフ筆	個人蔵
3	更紗	個人蔵
4	吉雄権之助筆 伊藤空之允画像蘭語賛下書	個人蔵
5	蘭語発音覚	個人蔵
6	奥平昌高蘭文詩	個人蔵

7	ブロンホフ筆 奥平昌高賛詩	個人蔵
8	赤間関絵図	個人蔵
9	オランダ商館長参府時の諸記録	個人蔵
10	山口行齋遺品 蘭語医学書	個人蔵
11	山口行齋遺品 外科用洋鋏	個人蔵
12	栓付ガラス瓶と脚付ガラス杯	個人蔵
13	取手付碗皿	個人蔵
14	染付楼閣山水文皿	個人蔵
15	シーボルト画像（パネル展示）	（原資料）長崎歴史文化博物館蔵
16	染付楼閣山水文皿	個人蔵
17	染付欧風山水文蓋物 贈シーボルト	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
18	金彩碗皿 贈シーボルト	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
19	オランダ商館長御用船下関入湊図	下関市立歴史博物館蔵
20	万国総図・人物図	下関市立歴史博物館蔵
21	下関沿岸図	下関市立歴史博物館蔵
22	異国人物図会	下関市立歴史博物館蔵
23	後花園天皇口宣案	個人蔵
24	弓法大双紙	個人蔵
25	箆の旗印	個人蔵
26	宗義調（一鷗）書状	個人蔵
27	阿弥陀寺養専書状	個人蔵
28	長門本平家物語	個人蔵
29	豊臣秀吉朱印状	個人蔵
30	大内義隆袖判同氏奉行人連署奉書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
31	内藤隆世書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
32	村上元吉書下	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
33	豊臣秀次朱印状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
34	源氏物語図屏風	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
35	陣羽織	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
36	毛利秀元知行宛行状	個人蔵
37	毛利秀元知行宛行状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
38	毛利秀元袖印下関地料銀除衆目録	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
39	赤間関信使屋并近辺図（複製）	（原資料）岩国徴古館蔵
40	赤間関人別帳	個人蔵

41	伊藤家間取図	個人蔵
42	宗義成書状	個人蔵
43	立花宗茂書状	個人蔵
44	毛利秀元書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
45	黒田長政扶持米宛行状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
46	前田利常書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
47	観瀾閣記	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
48	毛利匡広仮名書出	個人蔵
49	毛利師就仮名書出	個人蔵
50	毛利匡芳仮名書出	個人蔵
51	毛利元義仮名書出	個人蔵
52	毛利元運仮名書出	個人蔵
53	毛利元周仮名書出	個人蔵
54	宗義成和歌短冊	個人蔵
55	亀図 宗義和筆	個人蔵
56	長府藩重臣連署奉書	個人蔵
57	長府藩重臣連署奉書	個人蔵
58	朝鮮船対馬入湊図	個人蔵
59	朝鮮船図	個人蔵
60	朝鮮半島遠望図	個人蔵
61	対州城下之図	個人蔵
62	小笠原様御旅館図	個人蔵
63	六字名号 隠元隆琦筆	個人蔵
64	七字名号 即非如一筆	個人蔵
65	空月庵むだ袋	個人蔵
66	架鷹図	個人蔵
67	墨梅図	個人蔵
68	坂本龍馬・伊藤九三・伊藤家使用人写真（パネル展示）	（原資料）個人蔵
69	坂本龍馬写真（パネル展示）	（原資料）個人蔵
70	茶道具	個人蔵
71	豊浦藩庁通達	個人蔵

2. 調査研究・普及活動

- ・ミュージアム・エドゥケーター研修（於：東京）の受講
- ・出前講座 8件

3. 収集・保存

(1) 資料収集(寄贈・寄託・購入)

①寄贈・寄託資料

No	名称	数量	備考
1	諏訪家資料	6件12点	寄贈
2	平野家資料	7件10点	寄贈
3	小月焼 花瓶	1点	寄贈
4	日露戦争絵葉書	44枚	寄贈
5	繭糸織物陶漆器共進会褒章授与証	1枚	寄贈
6	星里焼 おかめ置物	1躯	寄贈
7	赤間関硯	1面	寄贈
8	銭箱	1個	寄贈
9	本陣伊藤家資料	1括	寄託
10	西原家文書	24通	寄託
11	赤間関硯	1面	寄託
12	長門国鑄銭遺物	2点	寄託
13	下関陶芸関係資料	209件395点	寄託
14	企救郡絵図	1枚	寄託

②購入資料

・長府毛利家遺品

No	名称	数量
1	毛利元就画像 仁如集堯賛 永禄5年(1562)	1幅
2	毛利元就画像 毛利匡広賛 享保9年(1724)	1幅
3	毛利元就御座備図	1幅
4	茶壺 銘 玉蟲	1口

③保管転換

- ・「古谷道庵日乗」を下関市烏山民俗資料館から保管転換。
- ・「関門鉄道トンネル資料」を文化財保護課から保管転換。
- ・下関市立長府図書館(下関文書館)所蔵の歴史資料等を同館から移送。

(2) 収集審査会

平成29年3月17日(金)13時00分～ 実施

(1)の資料収集のうち①寄贈・寄託資料収集の可否について審査を実施した。

審査員 井土 誠(元下関市立美術館館長)
 小山良昌(毛利博物館顧問)
 利岡俊昭(元梅光学院大学文学部教授)
 渡辺一雄(梅光学院大学文学部客員教授)

(3) くん蒸業務

委託先：三共アメニテクス株式会社 福岡支店（福岡県福岡市）

平成28年11月 2日(水)～ 4日(金) 下関市立歴史博物館館内くん蒸を実施

平成29年 3月20日(月)～24日(金) 旧長府博物館館内くん蒸を実施

(4) 資料の利用

①特別観覧

※下関市立歴史博物館及びその分館である日清講和記念館に収蔵する資料について、学術研究等のために熟覧、模写、模造、撮影、複製等を行うこと。

〈内訳〉

内容	熟覧	模写	模造	撮 影		複製	総計
				カラー	モノクローム		
件数	0件	0件	0件	102件	6件	1件	109件

②資料貸付

No	展 覧 会 名 称	貸 付 先	数 量
1	明治九年鳥取縣廢セラレ候 ～鳥取県再置への軌跡～	鳥取市歴史博物館	12件13点
2	第三代奇兵隊総督 赤禰武人	岩国徴古館	4件 5点
3	関門幕末維新伝	北九州市立自然史・歴史博物館	15件15点
4	没後150年 坂本龍馬	京都国立博物館	17件19点
5	度会文流斎 謎のカリスマ御用絵師	下関市立美術館	17件17点

4. その他

(1) 環境整備に係る寄附

- ・ 絵画「早春の功山寺」 1点（藤井敦氏）
- ・ 屋外ベンチ 5脚（下関商工会議所女性会）
- ・ 車椅子及び歩行車 各2台（村上壮太氏）
- ・ 来館者休息用ソファ 6脚（下関長府ライオンズクラブ）

(2) 学術図書の寄附

- ・ 学術専門書など (利岡俊昭氏夫妻)

※一部を「利岡文庫」としてガイダンス交流室に配架。

III. 平成29年度事業概要

【管理運営】

1. 利用状況

(1) 観覧者数

●月別観覧者数

月	観覧者数(人)	月	観覧者数(人)
4月	6,012	10月	5,725
5月	6,719	11月	8,895
6月	3,411	12月	3,763
7月	3,389	1月	2,481
8月	5,721	2月	2,846
9月	4,128	3月	4,101
計	57,191		

年間開館日数 307日

開館時間延長 4月1日(土)、4月2日(日)

「彩の城下町長府・春」に伴い午後9時まで開館

11月25日(土)、11月26日(日)

「彩の城下町長府・秋2017」に伴い午後9時まで開館

(2) 企画展示及び特別展示実施状況

展 示 名	期 間	観覧者数
高杉晋作没後150年企画展 焦心録—晋作が翔けた下関	4月1日(土) ～5月28日(日)	5,890人
企画展 女流文人田上菊舎—江戸の女子旅	6月3日(土) ～7月30日(日)	2,698人
企画展 シーボルトと下関—日蘭交流の軌跡	8月5日(土) ～10月9日(月・祝)	5,188人
坂本龍馬没後150年記念特別展 龍馬がみた下関	10月14日(土) ～12月10日(日)	7,515人
企画展 戦国大名毛利元就—長府毛利家のルーツ	12月16日(土) ～1月28日(日)	1,556人
ユネスコ「世界の記憶」登録記念特別展 朝鮮通信使—日韓の平和構築と文化交流の歴史	2月3日(土) ～3月11日(日)	1,865人
明治維新150年記念企画展 幕末のメディアと下関	3月17日(土) ～5月20日(日)	1,180人※

※観覧者数は3月17日～3月31日までを計上

(3) 図録発行状況

名 称	発 行 年 月	頒 価
『坂本龍馬没後150年記念特別展 龍馬がみた下関』	平成29年10月	1,000円
『ユネスコ「世界の記憶」登録記念特別展 朝鮮通信使—日韓の平和構築と文化交流の歴史』	平成30年 2月	1,000円

(4) 年間行事

No	日 程	内 容
1	平成29年 4月 1日	企画展「焦心録」ギャラリートーク
2	平成29年 4月 1～ 2日	夜間開館
3	平成29年 5月 7日	企画展「焦心録」ギャラリートーク
4	平成29年 5月27日	企画展「焦心録」ギャラリートーク
5	平成29年 8月20日	韓国青少年通信使交流事業
6	平成29年10月14日	特別展「龍馬がみた下関」開会式
7	平成29年10月28日	坂本龍馬没後150年記念シンポジウム 志士たちがみた下関―希望の街へ (於生涯学習プラザ大ホール)
8	平成29年11月11日	特別展「龍馬がみた下関」関連ミニ講座 「手紙からみる龍馬と下関の関係」
9	平成29年11月20日	「時代を拓く」設置1周年記念イベント
10	平成29年11月25～26日	夜間開館
11	平成29年12月10日	特別展「龍馬がみた下関」関連ミニ講座 「下関にのこる龍馬エピソード」
12	平成30年 2月 3日	特別展「朝鮮通信使」開会式
13	平成30年 2月10日	学術講演会「朝鮮通信使―その歴史的意義」 (於市民会館中ホール)
14	平成30年 2月26日	歴史博物館資料収集審査会
15	平成30年 3月 5日	下関市立歴史博物館協議会
16	平成30年 3月18～22日	旧長府博物館館内くん蒸
17	平成30年 3月19日	下関市立歴史博物館館内くん蒸

【事業報告】

1. 展示活動

(1) 常設展示

①基本展示

下関の歴史について、館蔵品や模型を用いて通史的な展示を行い、平成29年度中に6度の展示替えを実施した。

②テーマ展示

・下関戦争（通期）

幕末の下関において起こった下関戦争について、当時彦島の弟子待台場に備え付けられていた荻野流一貫目青銅砲と映像ブースを中心にした展示を行った。また、夏季には、平易にした解説パネルや写真パネルを用いて、子供向けの展示を行った。

・武家の装い（平成29年3月28日(火)～5月28日(日)、平成28年度から継続）

端午の節句にあわせて長府毛利家及び清末毛利家ゆかりの武具や装束などを展示し、武家の装いについて紹介した。

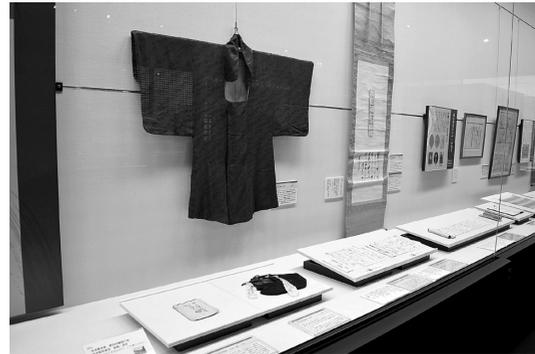
・阿弥陀寺から赤間神宮へ（平成29年5月30日(火)～7月30日(日)）

壇ノ浦の合戦で没した安徳天皇を弔った阿弥陀寺が、近代に入って赤間神宮へと姿を変えていく軌跡について、絵図類を中心に紹介した。

- ・近世下関の日韓交流—誠心交隣（平成29年8月1日(火)～10月9日(月・祝)）
近世に日本を訪れた朝鮮通信使と下関の人々との間で行われた文化交流や、朝鮮から長府藩領に流れ着いた漂流民について、館蔵の朝鮮通信使関係資料を展示して紹介した。



常設展示風景①



常設展示風景②



テーマ展示風景①
(テーマ展示「阿弥陀寺から赤間神宮へ」より)



テーマ展示風景②
(テーマ展示「近世下関の日韓交流」より)

(2) 企画展示

①高杉晋作没後150年記念企画展

焦心録

—晋作が翔けた下関

【会 期】平成29年4月1日(土)
～平成29年5月28日(日)

【開館日数】51日 【観覧者数】5,890人

【担当学芸員】稲益あゆみ

【出品件数】62件

【展示概要】高杉晋作没後150年を記念するもので、幕末の下関を翔けた晋作の一生を紹介。下関市立東行記念館と共同開催。



チラシ表



チラシ裏

【展示資料目録】

No	資料名	所蔵
1	萩城下古図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
2	高杉晋作肖像画写真	下関市立歴史博物館蔵
3	高杉晋作所用文机	東行庵蔵・下関市立東行記念館寄託
4	吉田松陰自賛肖像（岡部本）	周南市美術博物館蔵
5	随園詩話補遺 卷3	山口県立山口博物館蔵
6	高杉晋作扁額	周南市美術博物館蔵
7	吉田松陰書状 伊藤静斎宛 安政5年8月15日	下関市立歴史博物館蔵
8	吉田松陰・久坂玄瑞外三人書状等貼交	下関市立歴史博物館蔵
9	高杉晋作書状 周布政之助宛 安政6年11月16日	山口県文書館蔵
10	吉田松陰所用 日本近辺図	下関市立歴史博物館蔵
11	久坂玄瑞筆 長井雅楽断罪文	山口県立山口博物館蔵
12	第三次攘夷戦図 ド・ハート筆	下関市立歴史博物館蔵
13	白石家浜門写真	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
14	奇兵隊結成綱領	毛利博物館蔵
15	高杉晋作書状 前田孫右衛門宛 文久3年6月8日	毛利博物館蔵
16	高杉晋作書状 前田孫右衛門宛 文久3年6月8日	毛利博物館蔵
17	農兵旗	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
18	馬関攘夷以来従軍筆記	山口県文書館蔵
19	白石正一郎日記草稿	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
20	七卿落図	下関市立歴史博物館蔵
21	甲子兵燹図	下関市立豊浦小学校教育資料館蔵
22	吉田松陰肖像	山口県立山口博物館蔵
23	奇兵隊血盟書	毛利博物館蔵
24	大砲を接收される壇浦台場写真	下関市立歴史博物館蔵
25	高杉晋作書状 杉梅太郎宛 元治元年9月2日	山口市小郡文化資料館蔵
26	前田孫右衛門詩書	下関市立歴史博物館蔵
27	堀真五郎詩書	下関市立歴史博物館蔵
28	毛利元純肖像	下関市立歴史博物館蔵
29	高杉和助（晋作）ほか六名斬罪状写	岩国徴古館蔵
30	三家老首実検図	岩国徴古館蔵
31	建部武彦覚書	福岡市博物館蔵
32	報国隊旗（タペストリー展示）	下関市立歴史博物館蔵 （原資料）豊功神社蔵
33	報国隊血盟書	下関市立長府図書館蔵

34	墨竹図 野村望東尼筆	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
35	新地会所図面	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
36	毛利敬親台場巡見図 伊崎・新地	下関市立歴史博物館蔵
37	湯浅真吾注進状写 乃美半兵衛宛 元治元年12月18日	岩国徴古館蔵
38	高井彦三廉書写	岩国徴古館蔵
39	高杉晋作書状 大田市之進・山県狂介・熊谷某宛 慶応元年正月6日	毛利博物館蔵
40	討奸檄	山口県立山口博物館蔵
41	伊藤博文覚書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
42	萩藩褒状	下関市立歴史博物館蔵
43	赤禰武人書状 金子部・井上少輔・林軍平宛 慶応元年正月23日	下関市立歴史博物館蔵
44	毛利元周肖像	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
45	毛利元蕃肖像	個人蔵・周南市美術博物館寄託
46	毛利敬親肖像	山口県立山口博物館蔵
47	回復私議	下関市立東行記念館蔵
48	萩藩沙汰書	下関市立東行記念館蔵
49	高杉晋作詩書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
50	三條實美所用直垂 贈泉十郎	下関市立歴史博物館蔵
51	白石正一郎日記中摘要	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	高杉晋作詩書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
53	高杉晋作詩書扇面	個人蔵
54	坂本龍馬書状 品川省吾宛 慶応2年6月16日（複製）	下関市立歴史博物館蔵
55	九州小倉合戦図	下関市立歴史博物館蔵
56	小倉戦争差図書	下関市立東行記念館蔵
57	入江家屋敷割図	下関市立歴史博物館蔵
58	長門だより	福岡市博物館蔵
59	高杉晋作書状 福田侠平宛 慶応2年臘月14日	毛利博物館蔵
60	林家文書 家内行事録	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
61	谷東行主神葬畧式	下関市立歴史博物館蔵
62	捫蝨処草稿	下関市立東行記念館蔵

【関連イベント】

ギャラリートーク

日 時 下関市立歴史博物館
 平成29年4月 1日（土）
 5月 7日（日）
 5月27日（土）



ギャラリートーク

②女流文人田上菊舎—江戸の女子旅

【会 期】平成29年6月3日（土）

～平成29年7月30日（日）

【開館日数】50日 【観覧者数】2,698人

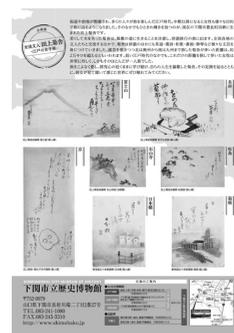
【担当学芸員】松田和也

【出品件数】63件

【展示概要】下関出身で、江戸時代を代表する女流文人として知られる田上菊舎の生涯を紹介するもの。



チラシ表



チラシ裏

【展示資料目録】

No	資料名	所蔵
1	藩中略譜	下関市立歴史博物館蔵
2	改称賀章集	個人蔵
3	萩城下古図（パネル展示）	（原資料）個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
4	田上菊舎所用 頭陀袋	個人蔵
5	田上菊舎所用 頭陀袋	下関市立豊浦小学校教育資料館蔵
6	朝暮園傘狂口上書	個人蔵
7	朝暮園傘狂句書	下関市立歴史博物館蔵
8	稿本 ふたたび杖	個人蔵
9	稿本 春の恵	個人蔵
10	稿本 夜長時	個人蔵
11	田上菊舎自画賛 松島図	個人蔵
12	野村白寿坊句書[舞ふ鶴の～]	下関市立歴史博物館蔵
13	稿本 初日の出	個人蔵
14	稿本 師の前に	個人蔵
15	稿本 初手水	個人蔵
16	田上菊舎自画賛 弾琴図	個人蔵
17	東海道五十三駅画題	個人蔵
18	田上菊舎自画賛 富士図	個人蔵
19	伊藤宗長書状	個人蔵
20	稿本 つくしの旅 2	個人蔵
21	稿本 九州行	個人蔵
22	亀井南冥詩書	下関市立歴史博物館蔵
23	稿本 一声行脚 夜長の談笑 2	個人蔵
24	副島無漏庵詩書	下関市立歴史博物館蔵

25	稿本 九国再遊 墨摺山	個人蔵
26	費晴湖詩書	個人蔵
27	田上菊舎詩稿	個人蔵
28	田上菊舎所用 小硯 銘 冷泉	下関市立豊浦小学校教育資料館蔵
29	稿本 首途	個人蔵
30	稿本 吉野行餞吟	個人蔵
31	田上菊舎所用 黒漆棗 中村宗哲作	個人蔵
32	平松中納言下賜品入	個人蔵
33	田上菊舎自画賛 石山寺図	下関市立歴史博物館蔵
34	田上菊舎句書「山門を～」	下関市立歴史博物館蔵
35	田上菊舎著 手折菊	個人蔵
36	田上菊舎句書「雲水の～」	下関市立歴史博物館蔵
37	田上菊舎・諸女子合作画賛 髑髏図	個人蔵
38	稿本 都のしらへ	個人蔵
39	田上菊舎懐紙綴	個人蔵
40	往来書添 (田上菊舎自画賛外貼交屏風)	個人蔵
41	田上菊舎著 空月庵むだ袋	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
42	稿本 鶯の舎	個人蔵
43	文政7年書画帳	個人蔵
44	稿本 山めぐり集	個人蔵
45	稿本 月の笠	個人蔵
46	稿本 亀山詣	個人蔵
47	度会文流斎筆 翁媪図	下関市立歴史博物館蔵
48	弘化3年屋敷割図 (パネル展示)	(原資料) 下関市立歴史博物館蔵
49	田上菊舎書状	下関市立歴史博物館蔵
50	田上菊舎自画賛 蘭石図	個人蔵
51	田上菊舎自画賛 松と鼓図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	毛利元義書状	個人蔵
53	毛利元義画像 (パネル展示)	(原資料) 茶梅亭文庫蔵
54	長府人合作書画帖	下関市立歴史博物館蔵
55	田上菊舎自画賛 狗子仏性図	個人蔵
56	田上菊舎自画賛屏風	下関市立歴史博物館蔵
57	田上菊舎所用 茶杓 銘 いでそよ	個人蔵
58	田上菊舎所用 鑲 銘 糸月	個人蔵

59	田上菊舎所用 香合 銘 この駒	個人蔵
60	田上菊舎所用 筒茶碗	個人蔵
61	田上菊舎所用 端溪硯	個人蔵
62	田上菊舎使用印	個人蔵
63	田上菊舎所用 双鶴梅樹文十徳	個人蔵

③シーボルトと下関一日蘭交流の軌跡

【会 期】平成29年8月5日（土）
～平成29年10月9日（月・祝）

【開館日数】57日 【観覧者数】5,188人

【担当学芸員】田中洋一

【出品件数】73件

【展示概要】江戸時代にオランダ商館長に随行して下関を訪れたシーボルトを中心に、下関における日蘭交流について紹介。下関市立美術館「ロシア科学アカデミー図書館所蔵 川原慶賀の植物図譜」展と連携開催。



チラシ表



チラシ裏

【展示資料目録】

No	資料名	所蔵
1	長崎港と湾の眺望	シーボルト記念館蔵
2	オランダ使節の行列	シーボルト記念館蔵
3	漢洋長崎居留図巻（複製）	シーボルト記念館蔵
4	唐蘭館図絵巻（複製）	シーボルト記念館蔵
5	阿蘭陀船入津より出帆迄行事帳	シーボルト記念館蔵
6	覚	シーボルト記念館蔵
7	江戸行一件書留	シーボルト記念館蔵
8	江戸参府随行一件	シーボルト記念館蔵
9	絵本東都遊 中巻	シーボルト記念館蔵
10	オランダ商館長御用船下関入湊図（複製）	下関市立歴史博物館蔵
11	万国幟印	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
12	ドゥーフ肖像画（パネル展示）	（原資料）神戸市立博物館蔵
13	富嶽松図 フィルケ筆 ドゥーフ着賛	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
14	奥平昌高蘭文詩	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
15	ブロンホフ家族図（パネル展示）	（原資料）神戸市立博物館蔵

16	ブロンホフ筆 奥平昌高賛詩	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
17	江戸参勤海陸道中図会	下関市立歴史博物館蔵
18	ブロンホフ筆 農夫図扇面	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
19	オランダ商館長参府時の諸記録	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
20	シーボルト肖像画（複製）	シーボルト記念館蔵
21	楠本滝肖像画	シーボルト記念館蔵
22	ヒドラングア・オタクサ図（複製）	シーボルト記念館蔵
23	シーボルト使用手術器具（複製）	シーボルト記念館蔵
24	シーボルト旧蔵眼科手術器具	シーボルト記念館蔵
25	シーボルト処方箋（複製）	シーボルト記念館蔵
	シーボルト処方箋（パネル展示）	（原資料）大洲市立博物館
26	シーボルト免許状	シーボルト記念館蔵
27	大槻玄沢肖像画 小田百合原画 高橋松亭模写（パネル展示）	（原資料）仙台市博物館蔵
28	最上徳内肖像画 川原慶賀筆（パネル展示）	（原資料）シーボルト記念館蔵
29	伝シーボルト使用コーヒーカップ	シーボルト記念館蔵
30	伝シーボルト使用ナイフとフォーク	シーボルト記念館蔵
31	楠本イネ写真（パネル展示）	（原資料）大洲市立博物館
32	楠本たか・三瀬諸淵写真（パネル展示）	（原資料）大洲市立博物館
33	楠本イネ・楠本たか写真（パネル展示）	（原資料）大洲市立博物館
34	シーボルト着用軍服（複製）	シーボルト記念館蔵
35	NIPPON 初版本 第1巻	シーボルト記念館蔵
36	日本動物誌 哺乳類編	シーボルト記念館蔵
37	日本動物誌 甲殻類編（複製）	シーボルト記念館蔵
38	西国内海名所一覧 五雲亭貞秀作	下関市立歴史博物館蔵
39	諸国六十八景 長門赤間関 3代歌川広重作	下関市立歴史博物館蔵
40	下関竹崎図	下関市立歴史博物館蔵
41	ファン・デル・カペレン海峡の景	シーボルト記念館蔵
42	下関沿岸図	下関市立歴史博物館蔵
43	下関図巻	下関市立歴史博物館蔵
44	伊藤家屋舗地間数図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
45	瀉血手術図（複製）	シーボルト記念館蔵
46	生機論 卷之上	シーボルト記念館蔵
47	紀州産鯨について（複製）	シーボルト記念館蔵
48	中川涼斎詩藁	下関市立歴史博物館蔵

49	映山塾方府	シーボルト記念館蔵
50	山口行齋遺品 蘭語医学書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
51	山口行齋遺品 外科用洋鋏	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	杉山宗立一代記	シーボルト記念館蔵
53	塩の製造について（複製）	シーボルト記念館蔵
54	サカマタ鯨図（複製）	シーボルト記念館蔵
55	日本における茶樹の栽培と茶の製法（複製）	シーボルト記念館蔵
56	松岡道遠肖像画 狩野芳崖筆	下関市立歴史博物館蔵
57	薬品応手録	シーボルト記念館蔵
58	染付欧風山水文蓋物 贈シーボルト	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
59	金彩碗皿 贈シーボルト	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
60	万国航海図	下関市立歴史博物館蔵
61	諸勤録	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
62	長府藩重臣連署奉書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
63	蘭語発音覚	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
64	阿蘭陀図物 写	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
65	更紗	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
66	古谷道庵日乗 第67	下関市立歴史博物館蔵
67	古谷道庵日乗 第31	下関市立歴史博物館蔵
68	赤間関硯	下関市立歴史博物館蔵
69	栓付ガラス瓶と脚付ガラス杯	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
70	ウィローパターン皿	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
71	鷹山焼 染付欧風山水皿	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
72	古谷道庵日乗 第63	下関市立歴史博物館蔵
73	古谷道庵日乗 第70	下関市立歴史博物館蔵

④戦国大名毛利元就—長府毛利家のルーツ

【会 期】平成29年12月16日（土）
～平成30年1月28日（日）

【開館日数】31日 【観覧者数】1,526人

【担当学芸員】岡松 仁

【出品件数】67件

【展示概要】毛利氏の来歴や戦国大名毛利元就
が下関を治めるに至る過程、さら
に元就と子孫たちの文化的な事績
について紹介。



チラシ表



チラシ裏

【展示資料目録】

No	資料名	所蔵
1	長府毛利家系図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
2	江家次第	下関市立歴史博物館蔵
3	大江流兵書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
4	前右大将家政所下文写	山口県文書館蔵
5	長門本平家物語	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
6	毛利光房安堵状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
7	大内教弘書状	山口県文書館蔵
8	右田貞俊書状	山口県文書館蔵
9	足利義満御教書	渡辺翁記念文化協会蔵・学びの森くすのき寄託
10	足利義満袖判御教書	渡辺翁記念文化協会蔵・学びの森くすのき寄託
11	足利義満御教書	渡辺翁記念文化協会蔵・学びの森くすのき寄託
12	吉田郡山御城下古図	山口県文書館蔵
13	郡山全図（パネル展示）	（原資料）山口県文書館蔵
14	毛利元就所用 濃萌葱麻地袴	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
15	伝順徳妙孝大姉像	光楽寺蔵・山口県立美術館寄託
16	安芸国衆連署契状（パネル展示）	（原資料）個人蔵・山口県文書館寄託
17	興元公・幸松丸君御廟之図	山口県文書館蔵
18	毛利元就御座備図	下関市立歴史博物館蔵
19	福原広俊外14名連署状	山口県文書館蔵
20	毛利元就契状（パネル展示）	（原資料）個人蔵・山口県文書館寄託
21	志道広良契状（パネル展示）	（原資料）個人蔵・山口県文書館寄託
22	毛利元就・同隆元連署寄進状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
23	大内氏時代山口古図	山口県文書館蔵
24	大内義隆袖判安堵状	個人蔵
25	大内義長袖判安堵状	個人蔵
26	大内氏奉行人連署書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
27	大友氏年寄連署書状	下関市立歴史博物館蔵
28	山内隆通条書并毛利元就等連署返書写	下関市立歴史博物館蔵
29	乃美宗勝像	柳井市教育委員会蔵
30	毛利元就書状写（パネル展示）	（原資料）山口県文書館蔵
31	譜録 浦主計元伴	山口県文書館蔵
32	毛利元就・同隆元連署書状写	山口県文書館蔵
33	堀立直正申状写	山口県文書館蔵

34	毛利隆元像	常栄寺蔵・山口県文書館寄託
35	吉川元春像	吉川史料館蔵
36	小早川隆景像	柳井市教育委員会蔵
37	毛利元就三子教訓状写	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
38	毛利元就像	下関市立歴史博物館蔵
39	毛利元就自筆書状	山口市歴史民俗資料館蔵
40	毛利元就所用 白茶地桐竹文様綾頭巾	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
41	毛利元就所用 亀甲文印籠	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
42	毛利元就・同隆元連署書状	山口県文書館蔵
43	吉川元春外2名連署禁制	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
44	毛利隆元書下写 (パネル展示)	(原資料) 山口県文書館蔵
45	内藤隆春・市川経好連署書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
46	内藤氏奉行人連署書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
47	日明貿易船旗 (複製)	(原資料) 個人蔵・山口県文書館寄託
48	黒漆八間筋兜	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
49	毛利元就筆 黄點歌勅撰抄	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
50	照光院門跡道澄筆 毛利元就和歌	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
51	毛利元就筆 徒然草歌	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	毛利元就筆 連歌作法	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
53	毛利元清像	来福寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
54	毛利秀元像 狩野探幽筆	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
55	毛利秀元筆 御手鑑	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
56	飛鳥井雅枝免許状写	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
57	毛利元就伝	下関市立歴史博物館蔵
58	御当家並縁類御手蹟	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
59	毛利綱元像	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
60	毛利元就像 狩野察信筆	下関市立歴史博物館蔵
61	毛利綱元和歌并後水尾法皇勅点写	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
62	風早実種書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
63	日野弘資書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
64	毛利綱元筆 歌仙手鑑	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
65	毛利綱元筆 伊勢物語	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
66	毛利綱元筆 伊勢のつと	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
67	毛利綱元筆 七石集	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

⑤明治維新150年記念企画展

幕末のメディアと下関

【会 期】平成30年3月17日（土）
～平成30年5月20日（日）

【開館日数】13日 【観覧者数】1,180人
※いずれも平成29年度分のみ。

【担当学芸員】稲益あゆみ

【出品件数】70件

【展示概要】幕末の下関にもたらされた情報や、
下関で起きた事件の報じられ方について紹介。



チラシ表



チラシ裏

【展示資料目録】

No	資料名	所蔵
1	馬関真景図 狩野芳崖筆	個人蔵・下関市立美術館寄託
2	西国名所之内廿二 長府の沖 歌川貞秀筆	下関市立歴史博物館蔵
3	六十余州名所図会 長門下の関 歌川広重筆	下関市立歴史博物館蔵
4	西国名所之内廿三 亀山八幡宮 歌川貞秀筆	亀山八幡宮蔵
5	日本地誌略図 赤間ヶ関 三代歌川広重筆	亀山八幡宮蔵
6	西国名所之内廿四 与次兵衛岩 岩流島 歌川貞秀筆	下関市立歴史博物館蔵
7	赤馬関細見之図	下関市立歴史博物館蔵
8	大日本海陸名所図会 赤間関 歌川貞秀筆	下関市立歴史博物館蔵
9	毛利敬親台場巡見図 伊崎新地	下関市立歴史博物館蔵
10	毛利敬親台場巡見図 弟子待	下関市立歴史博物館蔵
11	六箇国海岸御固行列之図	下関市立歴史博物館蔵
12	古谷道庵日乗 第39	下関市立歴史博物館蔵
13	黒船来朝図	下関市立歴史博物館蔵
14	古谷道庵日乗 第40	下関市立歴史博物館蔵
15	亜米利加国大船之図 其余五箇国写生遠景	下関市立歴史博物館蔵
16	吉田松陰画像	下関市立歴史博物館蔵
17	古谷道庵日乗 第56	下関市立歴史博物館蔵
18	古谷道庵日乗 第57	下関市立歴史博物館蔵
19	古谷道庵日乗 第61	下関市立歴史博物館蔵
20	白石家浜門写真	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
21	大久保利通書状 白石廉作宛 万延元年11月13日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
22	島津久光肖像画（パネル展示）	（原資料）鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵
23	高崎五六書状 白石正一郎・廉作宛 文久2年8月4日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

24	七卿落図	下関市立歴史博物館蔵
25	真木和泉守書状 白石正一郎・廉作宛 文久3年9月12日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
26	泰平中国御固	下関市立歴史博物館蔵
27	古谷道庵日乗 第79	下関市立歴史博物館蔵
28	泰平中国御固附	下関市立歴史博物館蔵
29	古谷道庵日乗 第80	下関市立歴史博物館蔵
30	第三次攘夷戦図 ド・ハート筆	下関市立歴史博物館蔵
31	白石正一郎日記草稿	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
32	神奈川新聞写	下関市立歴史博物館蔵
33	下関戦争図 ワーグマン筆	下関市立歴史博物館蔵
34	両軍砲弾	下関市立歴史博物館蔵
35	占拠された前田低台場写真	下関市立歴史博物館蔵
36	占拠された前田高台場写真	下関市立歴史博物館蔵
37	角石陣屋の攻防戦写真	下関市立歴史博物館蔵
38	木砲	下関市立歴史博物館蔵
39	大砲を接収される壇浦台場写真	下関市立歴史博物館蔵
40	イラストレイテッド・ロンドンニュース	下関市立歴史博物館蔵
41	ル・モンド・イリュストレ	下関市立歴史博物館蔵
42	黒船来襲図	下関市立歴史博物館蔵
43	蒙古退散 大かがりの図	下関市立歴史博物館蔵
44	瓦版 元治元年甲子八月長門国大火	下関市立歴史博物館蔵
45	瓦版 馬関戦争図	下関市立歴史博物館蔵
46	万国幟印	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
47	日本外史	下関市立歴史博物館蔵
48	日本政記	下関市立歴史博物館蔵
49	岩崎鉄之助写真ガラス原板	下関市立歴史博物館蔵
50	岩崎鉄之助手帳	下関市立歴史博物館蔵
51	世良脩蔵書状 白石正一郎宛 慶応元年7月2日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	長防臣民合議書	下関市立歴史博物館蔵
53	諸御大名御旗本御名前附次第不同	下関市立歴史博物館蔵
	御大名様御参集本陣附次第不同	
54	瓦版 中国戦場大島郡大砲大焼之図	下関市立歴史博物館蔵
55	瓦版 夜討合戦	下関市立歴史博物館蔵
56	瓦版 玖波村戦争之図	下関市立歴史博物館蔵
57	瓦版 石州口周布之合戦	下関市立歴史博物館蔵

58	瓦版 九州小倉合戦図	下関市立歴史博物館蔵
59	白石正一郎日記中摘要	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
60	四境の役状況報告書	下関市立歴史博物館蔵
61	古谷道庵日乗 第86	下関市立歴史博物館蔵
62	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応3年2月22日	下関市立歴史博物館蔵
63	朝廷御達書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
64	戊辰戦争瓦版	下関市立歴史博物館蔵
65	太平梅の春 かえ歌 瓦版	下関市立歴史博物館蔵
66	北越出兵沙汰書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
67	福田侠平書状 白石正一郎宛 明治元年6月22日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
68	古谷道庵日乗 第93	下関市立歴史博物館蔵
69	太政官日誌	下関市立歴史博物館蔵
70	豊浦藩知事任免辞令	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

(3) 特別展示

①坂本龍馬没後150年記念特別展

龍馬がみた下関

【会 期】平成29年10月14日（土）
～平成29年12月10日（日）

【開館日数】49日 【観覧者数】7,515人

【担当学芸員】田中洋一

【出品件数】102件

【展示概要】坂本龍馬没後150年を記念して
開催するもので、龍馬と下関との
様々な関わりについて紹介。



チラシ表



チラシ裏

【展示資料目録】

No	資料名	所蔵
1	坂本龍馬画像 公文菊僊筆 中嶋気山賛	鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵
2	坂本龍馬画像 公文菊僊筆 千頭清臣賛	高知県立歴史民俗資料館蔵
3	若尾直馬届出書写（「国事関係書類綴」）	鳥取県立博物館蔵
4	青山小三郎上京中日記	国立国会図書館蔵
5	長州道の記	個人蔵・鳥取県立博物館寄託
6	長崎丸船板	大蔵院蔵
7	小松帯刀書状 大久保一蔵宛カ 元治元年11月26日	鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵
8	小田村素太郎書状 時田少輔宛 慶応元年閏5月3日（「国難餘響」）	下関市立歴史博物館蔵
9	桂小五郎書状 時田少輔宛 慶応元年閏5月3日（「国難餘響」）	下関市立歴史博物館蔵

10	東久世通禧詩書	下関市立歴史博物館蔵
11	坂本龍馬書状 渋谷彦介宛 慶応元年閏5月5日	鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵
12	蓑田新平・渋谷彦介書状 西郷吉之助宛 慶応元年閏5月14日	鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵
13	坂本龍馬書状 池内蔵太宛 慶応元年夏頃22日	高知県立歴史民俗資料館蔵
14	坂本龍馬書状 坂本乙女宛 慶応元年夏頃	高知県立歴史民俗資料館蔵
15	坂本龍馬書状 坂本乙女宛 慶応元年秋頃	高知県立歴史民俗資料館蔵
16	坂本龍馬書状 坂本権平・乙女・おやへ宛 慶応元年9月7日	高知県立歴史民俗資料館蔵
17	九月三拾日坂本龍馬・西郷吉之助密書 〔明治追加第30〕	吉川史料館蔵
18	吉川経幹周旋記 第15	吉川史料館蔵
19	白石正一郎日記中摘要	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
20	御城山ヨリ馬関彦島沖測量図	下関市立歴史博物館蔵
21	諸名士手蹟貼交（高杉晋作詩書）	個人蔵
22	坂本龍馬書状 印藤聿宛 慶応元年12月3日	下関市立歴史博物館蔵
23	木戸孝允詩書	山口県立山口博物館蔵
24	黒田了介書状 西郷吉之助宛 慶応2年1月7日	鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵
25	高杉晋作詩書扇面	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
26	薩長同盟覚書写	鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵
27	寅正月・二月七日桂小五郎談話覚書〔明治追加第26〕	吉川史料館蔵
28	三吉慎蔵日記 2	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
29	三吉慎蔵日記抄録	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
30	京坂書通写 慶応二年丙寅正月 〆	鳥取県立博物館蔵
31	三吉慎蔵佩刀	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
32	三吉慎蔵肖像写真	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
33	西郷隆盛所用 赤間関硯	公益財団法人荘内南洲会蔵
34	西郷隆盛詩書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
35	西郷隆盛帷子	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
36	毛利敬親趣意書 三吉慎蔵宛〔旧藩以来達書 2巻〕	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
37	長府藩達書 三吉慎蔵宛 慶応2年3月19日 〔旧藩以来達書 2巻〕	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
38	坂本龍馬・中岡慎太郎・田中光顕詩歌短冊合装	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
39	毛利敬親・広封親書写	下関市立歴史博物館蔵
40	長州再征軍進発図	下関市立歴史博物館蔵
41	第二次長州征役の図	福岡市博物館蔵
42	木戸貫治書状 品川弥二郎宛 慶応2年6月10日	鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵
43	毛利元周肖像画	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

44	紺糸威二枚胴具足 毛利元運・元周所用	忌宮神社蔵
45	坂本龍馬書状 品川省吾宛 慶応2年6月16日	下関市立歴史博物館蔵
46	下関戦図 溝渕広之丞・坂本龍馬作	高知県立歴史民俗資料館蔵
47	坂本龍馬肖像写真	高知県立歴史民俗資料館蔵
48	溝渕広之丞肖像写真	高知県立歴史民俗資料館蔵
49	白石正一郎日記草稿	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
参考①	四境戦争瓦版 九州小倉合戦図	下関市立歴史博物館蔵
50	山口御屋形図	山口県立山口博物館蔵
51	崎陽新聞 莊村助右衛門筆 佐々布左内宛 慶応3年2月10日	熊本県立図書館蔵
52	小倉城落城図写	下関市立歴史博物館蔵
53	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応2年7月28日（複製）	（原資料）仙台市博物館蔵
54	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応2年8月16日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
55	坂本龍馬肖像写真	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
56	薩長国産貿易商社誓約ノ件	鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵
57	印藤聿書状 三吉慎蔵宛 慶応3年2月13日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
参考②	印藤聿書状 三吉慎蔵宛 慶応3年2月14日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
58	坂本龍馬俚謡	下関市立歴史博物館蔵
59	諸国遊所見立直段附	下関市立歴史博物館蔵
60	下ノ関いなり町大阪楼 紅葉	下関市立歴史博物館蔵
61	西国名所之内廿四 与治兵衛岩・岩流嶋	下関市立歴史博物館蔵
62	坂本龍馬和歌短冊	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
63	伊藤九三俳句短冊	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
64	坂本龍馬愛用 飯碗と湯呑	下関市立歴史博物館蔵
65	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応3年2月22日	下関市立歴史博物館蔵
66	坂本龍馬書状 河田左久馬宛 慶応3年2月14日 （「硯海拾珠」）	個人蔵・鳥取県立博物館寄託
67	坂本龍馬書状 印藤聿宛（4通）	京都大学附属図書館蔵
68	小谷伊兵衛より差出候竹嶋之絵図	鳥取県立博物館蔵
69	赤間関絵図写	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
70	坂本龍馬書状 伊藤九三宛 年月不詳13日 （「精魂余芳帖」）	山口大学図書館蔵
71	本陣伊藤家間取図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
72	坂本龍馬書状 伊藤九三宛 年月不詳4日	個人蔵
参考③	印藤聿書状 三吉慎蔵宛 慶応3年4月21日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
73	万国幟印	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
74	坂本龍馬・伊藤九三ほか1人写真	個人蔵

75	坂本龍馬書状 伊藤九三宛(13通)	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
76	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応3年3月20日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
77	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応3年5月5日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
78	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応3年5月8日	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
79	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応3年5月17日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
参考④	印藤聿書状 三吉慎蔵宛 年月不詳16日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
80	英艦水夫酩酊暴行一件	九州大学附属図書館付設記録資料館蔵
81	坂本龍馬湿板写真(複製)	高知県立歴史民俗資料館蔵
82	坂本龍馬書状 お龍宛 慶応3年5月28日	京都国立博物館蔵
83	諸氏書翰(坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応3年8月14日)	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
84	坂本龍馬書状 佐々木高行宛 慶応3年8月頃	福岡市博物館蔵
85	坂本龍馬書状 佐々木高行宛 慶応3年9月頃(3通)	大洗町幕末と明治の博物館蔵
86	坂本龍馬書状草案 慶応3年9月(複製)	個人蔵
参考⑤	伊佐太郎書状 三吉慎蔵宛 慶応3年9月20日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
87	薩長芸藩盟約書草稿	京都大学附属図書館蔵
88	坂本龍馬筆 新政府綱領八策	下関市立歴史博物館蔵
89	討幕の密勅(複製)	鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵
90	伊藤九三書状 三吉慎蔵・印藤聿宛 慶応3年12月2日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
参考⑥	諸氏書翰 (熊野直介書状 三吉慎蔵・印藤聿宛 慶応3年12月2日)	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
91	京都維新史跡写真帖	京都大学附属図書館蔵
92	伊藤九三書状 三吉慎蔵宛 慶応3年12月5日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
93	古谷道庵日乗 第90	下関市立歴史博物館蔵
94	長府毛利家日載 明治29年	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
95	三吉慎蔵日記 17	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
参考⑦	日原素平歌書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

【関連イベント】

- ・坂本龍馬没後150年記念シンポジウム「志士たちがみた下関―希望の街へ」
 - 日 時 平成29年10月28日（土）13時30分～
 - 講 師 桐野作人
 - パネリスト 西郷隆夫 坂本匡広 三吉治敬 伊藤根広 白石尚之
 - 聴 講 者 数 約500人
 - 会 場 生涯学習プラザ大ホール



桐野作人氏による基調講演



シンポジウムの様子

・ミニ講座

- i) 「手紙からみる龍馬と下関の関係」
- ii) 「下関にのこる龍馬エピソード」
 - 日 時 i) 平成29年11月11日（土） ii) 平成29年12月10日（日）
 - 各日10時30分～11時30分
 - 聴 講 者 数 約100人（i・ii合計）
 - 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

②ユネスコ「世界の記憶」登録記念特別展
朝鮮通信使

―日韓の平和構築と文化交流の歴史

- 【会 期】平成30年2月3日（土）
～平成30年3月11日（日）
- 【開 館 日 数】32日 【観 覧 者 数】1,865人
- 【担 当 学 芸 員】町田一仁
- 【出 品 件 数】43件（重要文化財を含む）
- 【展 示 概 要】平成29年10月に「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記憶」に登録されたことを記念して開催。江戸時代の朝鮮通信使が果たした役割と歴史的な意義、並びに下関との関わりについて紹介。



チラシ表



チラシ裏

【展示資料目録】

No	資料名	所蔵
1	朝鮮国書 朝鮮国王李昞国書	京都大学総合博物館蔵
2	朝鮮国書 朝鮮国王李昞国書別幅	京都大学総合博物館蔵
3	朝鮮国書 朝鮮国王李瑄国書	京都大学総合博物館蔵
4	朝鮮国書 朝鮮国王李昞国書	外務省外交史料館蔵
5	朝鮮国書 朝鮮国王李昞国書別幅	外務省外交史料館蔵
6	徳川將軍家斉返書（日本国書）控	外務省外交史料館蔵
7	徳川將軍家斉返書別幅（日本国書別幅）控	外務省外交史料館蔵
8	正徳元年朝鮮通信使進物並進物目録	山口県立山口博物館蔵
9	藍嶋図（相島図）	岩国徴古館蔵
10	福岡藩朝鮮通信使記録（パネル展示）	（原資料）福岡県立図書館蔵
11	小倉藩朝鮮通信使易地聘礼記録	福岡県立育徳館高等学校錦陵同窓会蔵 みやこ町歴史民俗博物館寄託
12	朝鮮通信使御記録	山口県文書館蔵
13	赤間関信使屋并近辺図（複製）	（原資料）岩国徴古館蔵
14	甲申韓人来聘記事	名古屋市蓬左文庫蔵
15	天和度朝鮮通信使登城行列図屏風	大阪歴史博物館蔵
16	正徳度朝鮮通信使行列図巻	大阪歴史博物館蔵
17	朝鮮信使参着帰路行列図	高麗美術館蔵
18	宗対馬守護行帰路行列図	高麗美術館蔵
19	延享5年朝鮮通信使登城行列図	下関市立歴史博物館蔵
20	朝鮮通信使船上関来航図	超専寺蔵・上関町教育委員会寄託
21	朝鮮人来朝覚 備前御馳走船行烈図	呉市蔵・藍島文化振興財団 松濤園管理
22	正徳度朝鮮通信使国書先導船図屏風	大阪歴史博物館蔵
23	朝鮮通信使御楼船図屏風	大阪歴史博物館蔵
24	正徳度朝鮮通信使上々官第三船図・同供船	大阪歴史博物館蔵
25	朝鮮人物旗杖轎輿之図	名古屋市蓬左文庫蔵
26	朝鮮人御饗応七五三膳部図	名古屋市蓬左文庫蔵
27	馬上才図巻（朝鮮人曲馬図）	個人蔵
28	馬上才図 2代目鳥居清信筆	高麗美術館蔵
29	朝鮮通信使歓待図屏風 狩野益信筆	泉涌寺蔵
参考	正徳元年赤間関饗応五五三膳（複製）	下関市蔵
30	雨森芳洲関係資料	芳洲会蔵・長浜市管理 高月観音の里歴史民俗資料館保管

31	朝鮮通信使副使任守幹 壇ノ浦懷古詩	赤間神宮蔵
32	朝鮮通信使壇ノ浦懷古詩写	下関市立歴史博物館蔵
33	福禅寺対潮楼朝鮮通信使関係資料	福禅寺蔵 福山市鞆の浦歴史民俗資料館寄託
34	清見寺朝鮮通信使関係資料	清見寺蔵
35	波田嵩山朝鮮通信使唱酬詩並筆語	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
36	問槎畸賞	山口県立山口図書館蔵
37	長門癸甲問槎	山口県立山口図書館蔵
38	寿老人図 荷潭筆 古賀精里賛	大阪歴史博物館蔵
39	拾得図 金明国筆 無等賛	下関市立歴史博物館蔵
40	瀟湘八景図巻 狩野清真筆 李鵬溟賛	大阪歴史博物館蔵
41	彦根藩岡本半介筆録 任統謝詩 岡本半介唱酬詩	大阪歴史博物館蔵
42	朝鮮国三使口占聯句	名古屋市蓬左文庫蔵
43	宝暦14年朝鮮通信使正使趙曦書帖	下関市立歴史博物館蔵

【関連イベント】

- ・学術講演会「朝鮮通信使—その歴史的意義」
 日 時 平成30年2月10日（土）13時30分～
 講 師 仲尾 宏
 朴 花珍
 聴 講 者 数 約180人
 会 場 市民会館中ホール



仲尾宏氏による講演



朴花珍氏による講演



山口県立下関中等教育学校による研究発表

2. 調査研究・普及活動

- ・日本博物館協会中国支部研修会への参加（於岡山市）
- ・出前講座 10件

3. 収集・保存

(1) 資料収集（寄贈・寄託・購入）

①寄贈・寄託資料

No	名 称	数 量	備 考
1	仁保家資料	2点	寄 贈
2	書替証文	1通	寄 贈
3	日本遠征記	1冊	寄 贈
4	福原家資料	3点	寄 贈
5	毛利安子写真	3枚	寄 贈
6	明治・大正期絵葉書	1冊(95枚)	寄 贈
7	村井家資料	6点	寄 贈
8	清末婦人会鞍馬町第七支部日記	4冊	寄 贈
9	手拭	7点	寄 贈
10	丸山家資料	98件177点	寄 贈
11	黒塗水ニ澤瀉絞櫛台	1台	寄 贈
12	黒塗花桐唐草藤巴御絞横目録箱	1箱	寄 贈
13	國香家資料	83件155点	寄 贈
14	原川家資料	201点	寄 贈
15	粟屋家文書	3通	寄 託
16	梶山家資料	5件6点	寄 託
17	山崎コレクション	23点	寄 託
18	下関陶芸関係資料	64件94点	寄 託
19	赤間関市明細図	1枚	寄 託

②保管転換

- ・下関市立歴史博物館所蔵の民具を下関市立豊北歴史民俗資料館へ保管転換。
- ・「心光寺古墳出土品」(山口県指定文化財)を下関市立考古博物館へ保管転換。

(2) 収集審査会

平成30年2月26日(月)13時00分～ 実施

(1)の資料収集のうち①寄贈・寄託資料収集の可否について審査を実施した。

審査員 井土 誠 (元下関市立美術館館長)
 小山良昌 (毛利博物館顧問)
 利岡俊昭 (元梅光学院大学文学部教授)
 渡辺一雄 (元梅光学院大学文学部教授)

(3) くん蒸業務

委託先：三共アメニテクス株式会社 福岡支店 (福岡県福岡市)

平成30年3月19日(月) 下関市立歴史博物館館内くん蒸を実施

平成30年3月18日(日)～22日(木) 旧長府博物館館内くん蒸を実施

(4) 資料の利用

①特別観覧

※下関市立歴史博物館及びその分館である日清講和記念館に収蔵する資料について、学術研究等のために熟覧、模写、模造、撮影、複製等を行うこと。

〈内訳〉

内容	熟覧	模写	模造	撮 影		複製	総計
				カラー	モノクローム		
件数	0件	0件	0件	116件	11件	1件	128件

②資料貸付

No	展 覧 会 名 称	貸 付 先	数 量
1	下関の文化財Ⅱ―昔日の関門海峡	下関市立考古博物館	12件12点
2	没後150年 坂本龍馬	江戸東京博物館	10件11点
3	新・桃山展―大航海時代の日本美術	九州国立博物館	1件1点
4	長崎の游学者たち ―高野長英から坂本龍馬まで	シーボルト記念館	4件4点
5	幕末維新の動乱と都城 ～西郷隆盛と都城島津家～	都城島津邸都城島津伝承館	5件5点
6	「朝鮮通信使が見た鞆の浦」 ―世界記憶遺産登録をめざして―	福山市鞆の浦歴史民俗資料館	4件4点
7	没後150年記念 吉川経幹 ―維新前夜―	岩国徴古館	1件1点
8	史跡が語る幕末の下関 ～つわものどもが夢の跡	下関市立考古博物館	6件9点
9	禅寺の肖像画 ―雪舟・雲谷派の作品を中心に	山口県立美術館	1件1点

IV. 日清講和記念館

1. 施設概要

①沿革

日清講和記念館は、明治28年（1895）春に下関で行われた日清講和会議と、講和条約（下関条約）の歴史的意義を後世に伝えるため、昭和12年（1937）6月、講和会議の舞台である料亭春帆楼の隣接地に開館。浜離宮で使用されていたといわれる椅子をはじめ講和会議で用いられた調度品などを展示しており、館内中央には講和会議の部屋を再現している。

戦災を免れた記念館は、平成23年（2011）1月には、国の登録有形文化財に指定され、平成28年4月1日には、下関市立歴史博物館の分館となった。



日清講和記念館 外観

②建物・施設の概要

敷地面積 458.42㎡

建築面積 138.34㎡

構造 平屋建て

延床面積 190.66㎡

鉄筋コンクリート造

2. 平成28年度事業概要

①管理運営

・観覧者数

月	観覧者数（人）	月	観覧者数（人）
4月	5,982	10月	6,304
5月	5,387	11月	5,603
6月	5,113	12月	6,271
7月	6,148	1月	5,746
8月	5,094	2月	5,515
9月	5,872	3月	6,234
計			69,269

3. 平成29年度事業概要

①管理運営

・観覧者数

月	観覧者数(人)	月	観覧者数(人)
4月	6,598	10月	6,234
5月	7,008	11月	5,710
6月	6,023	12月	6,422
7月	6,612	1月	5,361
8月	6,164	2月	4,623
9月	6,198	3月	6,350
計	73,303		

②事業報告

・消毒業務

委託先：三共アメニテクス株式会社 福岡支店（福岡県福岡市）

平成30年3月22日(木)～23日(金) 消毒を実施

・日本遺産

平成29年4月28日(金)、本館を構成文化財に含む「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」が、日本遺産に登録された。

V. 条例・施行規則

○下関市立歴史博物館の設置等に関する条例

平成28年3月24日
条例第39号

下関市立博物館の設置等に関する条例（平成17年条例第121号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 市民の教育と文化の向上に資するため、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、本市に次のとおり博物館を設置する。

名称	位置
下関市立歴史博物館	下関市長府川端二丁目2番27号

2 前項の博物館（以下「本館」という。）に次のとおり分館を置く。

名称	位置
日清講和記念館	下関市阿弥陀寺町4番3号

（休館日）

第2条 本館の休館日は、次のとおりとする。ただし、下関市教育委員会（以下「委員会」という。）が必要があると認めるときは、休館日以外の日に休館し、又は休館日に開館することができる。

- (1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その翌日以後の最初の休日でない日）
 - (2) 12月28日から翌年1月4日までの日
- 2 委員会は、必要があると認めるときは、分館を臨時に休館することができる。

（開館時間等）

第3条 本館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。

- 2 分館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。
- 3 本館の駐車場（以下「駐車場」という。）に自動車を入場させ、又は駐車場から出場させることができる時間は、午前9時から午後5時30分までとする。
- 4 委員会は、必要があると認めるときは、第1項及び第2項の開館時間を変更することができる。

（観覧料）

第4条 本館で展示する資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

（特別観覧）

第5条 本館及び分館（以下「博物館」と総称する。）に収蔵する資料（以下「博物館資料」という。）について、学術研究等のために熟覧、模写、模造、撮影、複製等をしようとする者は、委員会の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める特別観覧料を納付しなければならない。

（駐車料金）

第6条 駐車場に自動車を駐車した者は、駐車場から自動車を出場させるときに、自動車を駐車場に入場させた時から出場させる時までの時間（以下「駐車時間」という。）に係る別表第3に定める駐車場の使用料（以下「駐車料金」という。）を納付しな

ければならない。

（観覧料等の減免）

第7条 市長は、公用又は公益上必要があると認めるときその他市長が特別の理由があると認めるときは、第4条の観覧料、第5条第2項の特別観覧料又は駐車料金（以下「観覧料等」という。）を減免することができる。

（観覧料等の不還付）

第8条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（入館等の制限）

第9条 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第4条の規定による観覧を拒み、又は第5条第1項の規定による許可をせず、若しくは既にした許可を取り消すことができる。

- (1) 他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。
- (2) 博物館資料、博物館の施設等を損傷し、又は損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) この条例若しくはこの条例に基づく規則に違反し、又は違反するおそれがあるとき。
- (4) その他博物館の管理上支障があると認められるとき。

（寄託）

第10条 博物館は、資料の寄託を受けることができる。
2 博物館に資料を寄託しようとする者は、委員会の承諾を受けなければならない。

（賠償の義務）

第11条 博物館の入館者は、博物館の施設又は博物館資料若しくは器材器具を滅失し、又は損傷したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償金額の全部又は一部を免除することができる。

（協議会の設置）

第12条 法第20条第1項の規定により、博物館に下関市立歴史博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。
- 3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから委員会が委嘱する。
- 4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 協議会の委員は、再任されることができる。
- 6 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

(委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成28年4月1日から施行する。ただし、第2条第1項、第3条第1項及び第3項、第4条、第6条、第7条中観覧料及び駐車料金の減免に関する部分、第8条中観覧料及び駐車料金に関する部分並びに別表第1及び別表第3の規定については、規則で定める日から施行する。

(平成28年規則第109号で平成28年11月18日から施行)

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の下関市立博物館の設置等に関する条例第5条第1項の規定によりされている許可又は許可の申請は、この条例による改正後の下関市立歴史博物館の設置等に関する条例第5条第1項の規定によりされた許可又は許可の申請とみなす。

別表第1 (第4条関係)

区分		1人1回につき	
		一般	大学生等
常設展示 観覧料	個人	200円	100円
	団体 (20人以上)	160円	80円
企画展示 観覧料	個人	100円	50円
	団体 (20人以上)	80円	40円
特別展示観覧料		2,000円以内で 市長が定める額	

備考

- 「常設展示観覧料」とは、平常展示する収蔵資料の観覧料をいう。
- 「企画展示観覧料」とは、博物館の収蔵資料及び近隣に所在する資料で構成されるもので、臨時に企画し、及び開催する展覧会等の観覧料をいう。
- 「特別展示観覧料」とは、外国又は国内の遠隔地に所在する資料を含むもので、特別に企画し、及び開催する展覧会等の観覧料をいう。
- 「一般」とは、19歳以上の者(高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校及び特別支援学校の生徒及び学生を除く。)をいう。
- 「大学生等」とは、19歳以上の者で高等専門学校及び大学の学生並びにこれに準ずるものをいう。

別表第2 (第5条関係)

区分		特別観覧料 (1件につき)	
熟覧		1日 200円	
模写、模造等		1日 1,030円	
撮影等	モノクローム	学術研究を 目的とする場合	1回 150円
		出版等収益を 伴う場合	1回 1,550円
	カラー	学術研究を 目的とする場合	1回 300円
		出版等収益を 伴う場合	1回 3,120円
複製		1回216,000円	

備考

- 「1日」とは、当日において、博物館に入館してから退館するまでをいう。
- 「撮影等」とは、資料を撮影すること、又は博物館に保管されている資料が撮影されたフィルム等を借り受けることをいう。
- 「1回」とは、資料の撮影を開始してから終了するまで又はフィルム等を借り受けてから返却するまでをいう。

別表第3 (第6条関係)

時間帯	駐車料金
午前9時から午後5時30分 までの間	1台につき駐車場に入場した時から最初の2時間まで1時間ごとに100円
	1台につき駐車場に入場した時から最初の2時間を超える30分又はその端数ごとに100円

備考

- 午前9時から午後5時30分までの間における駐車料金の限度額は、1日1回の駐車につき1,000円とする。
- 午後5時30分までに駐車場から自動車を出場させていないために1回の駐車時間が2日以上にわたるときの駐車料金は、次に掲げる額を合計した額とする。
 - 午前9時から午後5時30分までの間の駐車料金を1日ごとに算定した額
 - 午後5時30分を超過するごとに1,000円

○下関市立歴史博物館の設置等に関する条例施行規則

平成28年3月30日
教育委員会規則第9号

下関市立博物館の設置等に関する条例施行規則の全部を改正する。

(趣旨)

第1条 この規則は、下関市立歴史博物館の設置等に関する条例（平成28年条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(特別観覧)

第2条 条例第5条第1項の規定により、本館及び分館（以下「博物館」と総称する。）に収蔵する資料（以下「博物館資料」という。）について、学術研究等のために熟覧、模写、模造、撮影、複製等（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、下関市立歴史博物館特別観覧許可申請書（様式第1号）を下関市教育委員会（以下「委員会」という。）に提出しなければならない。

2 委員会は、前項の特別観覧を許可したときは、下関市立歴史博物館特別観覧許可書（様式第2号）を交付するものとする。

3 特別観覧の許可を受けた者は、前項の許可書を携帯し、職員の指示に従わなければならない。

(利用者の心得)

第3条 博物館の利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、構内施設、博物館資料その他の備品等を損傷し、汚損し、又それらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他の利用者の迷惑になる行為をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で喫煙し、飲食し、火気を使用しないこと。
- (4) 危険物及びペット類を持ち込まないこと。
- (5) 許可なく構内で物品を販売し、又は展示しないこと。
- (6) 許可なく博物館資料を撮影又は模写しないこと。
- (7) 博物館の設備、備品等の利用を終えたときは、これを原状に復すこと。
- (8) 所定の場所以外に出入りしないこと。
- (9) 前各号に定めるもののほか、管理上の必要から職員が行う指示に従うこと。

(寄託の申請)

第4条 条例第10条の規定に基づき、博物館に資料を寄託しようとする者は、寄託申請書（様式第3号）を委員会に提出しなければならない。

(受託証の交付)

第5条 委員会は、前条の寄託申請書の提出があった場合において、適当と認めるときは、当該申請者に対し受託証（様式第4号）を交付するものとする。

(免責)

第6条 受託品が災害その他の不可抗力によって滅失し、又は損傷した場合には、委員会はその責めを負わないものとする。

(会長及び副会長)

第7条 下関市立歴史博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を掌理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故がある又は会長が欠けたときは、会長の職務を代理する。

(協議会の会議)

第8条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

(協議会の庶務)

第9条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(その他)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

※紙幅の都合により様式第1～4号は省略

ご利用案内

- 開館時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日／月曜日(祝日を除く)および年末年始
- 観覧料／【常設展示】一般200円(160円)／大学生100円(80円) 【企画展示】一般100円(80円)／大学生50円(40円)

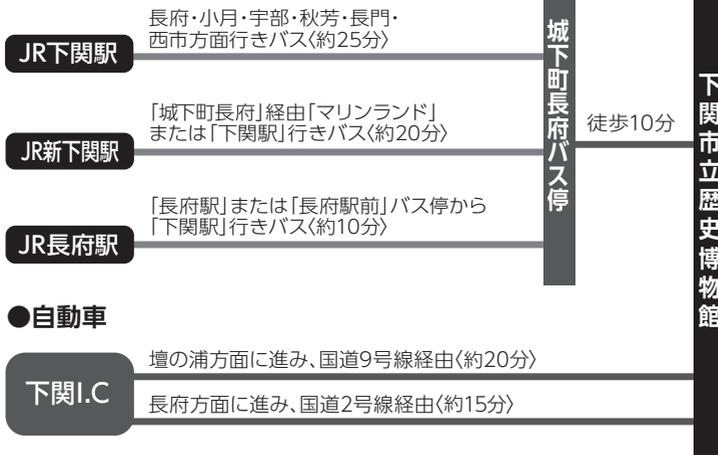
※()内は20名以上の団体料金 ※展示解説が必要な方は、あらかじめご連絡ください。
※18歳以下、70歳以上、障がい者の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。
※下関市および北九州市在住の65歳～69歳の方は常設展に限り無料。 ※特別展示の観覧料は別に定めます。

- 駐車料金／最初の2時間まで1時間ごとに100円、最初の2時間を超える30分又はその端数ごとに100円
- 駐車台数／一般26台、身障者用2台

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
また、当館の駐車場が満車の場合は、近くの有料駐車場をご利用ください。

交通のご案内

●公共交通機関



平成28～29年度 下関市立歴史博物館年報 平成31年3月31日

編集・発行

下関市立歴史博物館
〒752-0979 山口県下関市長府川端二丁目2番27号
TEL (083) 241-1080 FAX (083) 245-3310
<http://www.shimohaku.jp>

製作

株式会社アカマ印刷
〒752-0927 山口県下関市長府扇町9-10
TEL (083) 249-1188 FAX (083) 249-1148